

お花が
長持ち

お花のプロが伝授する

3つの水揚げ

i 水揚げとは…？

植物は、根の力で水を吸い上げることや、葉っぱの蒸散作用などの力によって水を取り込んでいます。切花は、根から水を吸い上げることが出来ないため、植物が本来持つ水を吸い上げる力よりも弱くなってしまいます。また、花束を花瓶に飾るまでの間に、細菌や空気が切花の切り口に入ってしまうと、より吸い上げる力が弱くなってしまいます。

そこで、切り口を切り戻したり、時には割ったり叩いたりして水を吸い上げやすい状態にすることを「水揚げ」と呼びます。

i 主な水揚げ方法



1.水切り

最低これだけは覚えたい!

最もポピュラーな植物の水揚げの方法です。切花を新聞紙などの紙に包んで、比較的深めのバケツに水を張ります。そして水の中でよく切れるハサミを使い切花の切り口の先端から2センチから3センチ程の所を斜めにカットすればOK

適したお花 ガーベラ、ダリア、薔薇など



2.割る/叩く/折る

【割る/叩く】簡単にハサミなどで切ることが難しい枝物などは、十字型に茎を縦に割るか、枝の根元をハンマーなどで叩き、繊維をほぐしてあげ、吸水面を広げてから水揚げをしてください。

【折る】ハサミなどは使わずに、根元から3cm程度の部分を手で折る方法で、折るときには、水中で出来ると効果的です。

適したお花 ユーカリ、ヒペリカム、枝物など



3.湯揚げ

切花を新聞紙などに包みます。60℃から100℃の熱湯を準備し、切花の根元から1cmほどの所を切り、素早く切り口を湯の中に入れます。茎の太さや形状によって入れておく時間は異なりますが、およそ20秒から40秒程浸けた後、水に浸ければOK

適したお花 アネモネ、マトリカリア、デルフィニューム、コスモス、草花など